



生育期の管理作業（前編）

（寒い期間の生育確保が、収量・品質を左右します！）

1. 生育期の雑草対策 ～雑草は残さず防除しましょう！～

＊ポイント

生育期の除草剤は ①圃場にある雑草の種類（広葉・イネ科）
②雑草の中で限界葉齢に近い草
に注意し選択しましょう。

①	カラスノエンドウ タデ類 ヤエムグラ 等の広葉雑草	➡	スズメノテッポウ スズメノカタビラ カラスムギネズミムギ 等のイネ科雑草	②
---	------------------------------------	---	---	---

（参考）生育期除草剤の例（限界葉齢に行き着かない内に散布することが重要！）

薬剤名	使用上の注意		散布時の注意		適用雑草・限界葉齢				
	使用時期	回数	使用量/10a	散布量/10a	スズメノテッポウ	カズノコグサ	カラスノエンドウ	タデ類	ヤエムグラ
ハーモニー75DF	播種後～節間伸長前	1回	5～10g	100L	5葉期まで	3葉期まで	×	初期のみ	4葉期まで
ハサグラン液剤	生育期（雑草3～6葉期） 但し収穫90日前まで		100～200ml	70～100L	×	6葉期まで			
アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで （雑草生育初期）	2回以内			×	3葉期まで			

（カズノコグサ防除は、ハーモニー75DFを10g/10a使用のこと）

＊使用上の注意等について、散布前に農薬ラベルを確認しましょう！

・除草剤散布に土入れを加えることにより、除草効果が向上します。

2. 踏圧・土入れ ～健全な生育のため適度な刺激を与えましょう！～

＊ポイント

- ①踏圧の 目的 : 茎数増加、耐寒（干）性向上、倒伏・凍霜害防止
 時期・回数 : 麦3～4葉期頃～莖立期・3～4回
 （暖冬等で、生育過剰の場合は1～2回追加）
- ②土入れの目的 : 除草効果向上、霜からの幼穂保護、無効分けつ抑制
 倒伏防止＊排水溝整備による湿害回避にも有効！
 時期・回数 : 麦4葉期頃～莖立期まで・目安は2回程度
 （暖冬等で、生育過剰の場合は回数を増やすこと）

3. 分けつ肥施用 ～生育量確保には適期・適正施肥が不可欠です！～

＊ポイント

①分けつ肥の成分量
（小麦・裸麦共通）

成分量 (kg/10a)	基肥	分けつ肥	穂肥	計
窒素 (N)	5	2	3	10
リン酸 (P ₂ O ₅)	8	0	0	8
カリ (K ₂ O)	5	1	2	8

＊施肥量（硫安）10kg/10a、（化成肥料14-14-14）15kg/10a

②分けつ肥の施用時期 麦3～4葉期

・播種遅れの圃場こそ、生育量確保のため確実に施用しましょう！